

別紙「とちぎの星」需要対応プロモーション支援事業業務 審査基準

項目	評価の着眼点	配点
1 業務への理解	【事業への理解】 仕様書に定める目的(「とちぎの星」の認知度向上、需要喚起、販売量・販売単価向上、生産拡大及び収益力向上)を正しく理解し、提案に反映しているか。 ・消費者向け、実需者向け、広報・PR活動の各取組を、対象者ごとに適切に整理しているか。 ・県産農産物としての「とちぎの星」の特長、ブランド価値、訴求先市場の理解が十分であるか。	0.5
2 提案内容的確性	【消費者向けプロモーションの実施】 ・園児、児童及び保護者、スポーツに関わる者等の対象者に応じた、具体的かつ効果的な実施計画となっているか。 ・食味の良さや特長を訴求し、認知度向上・消費拡大につながる内容となっているか。 ・アンケート実施等により、効果把握の方法が具体的であるか。	2.5
	【実需者向けプロモーションの実施】 ・飲食店、中食・給食事業者、流通関係者等のニーズを踏まえた提案となっているか。 ・試食提案、サンプル提供、説明資料、フォローアップ等を通じて、継続使用や新規取引先開拓につながる内容となっているか。 ・アンケート調査後の継続使用に向けた働きかけが具体的であるか。	2.5
	【広報・PR活動】 ・本事業の取組内容や「とちぎの星」の魅力・特長が広く伝わる広報・PR手法となっているか。 ・広告物、店舗資材、Web等の活用方法が具体的で、認知度向上及び利用促進に資するか。 ・県産農産物統一ロゴマーク「とちぎ育ち」の活用が適切に提案されているか。	2.0
	【効果測定・波及効果】 ・広告換算金額の算定等、事業効果を把握・整理する方法が具体的であるか。 ・実施後の波及効果や次年度以降の活用可能性まで見据えた提案となっているか。	1.5
3 運営手法の確実性	【過去の実績】 ・公共団体又は民間団体から、農産物のプロモーション、消費者向けイベント、実需者向け販路開拓等の業務を受託した実績はあるか。	0.2
	【事業体制】 ・実施体制、人員配置、役割分担が明確であるか。 ・関係機関、生産者、飲食店、実需者との調整を円滑に進める体制があるか。 ・スケジュール管理、進行管理、リスク対応が適切であるか。 ・アンケート実施・集計、記録保存、報告書作成まで確実にできるか。 ・個人情報保護、再委託管理、法令遵守への配慮があるか。	0.5
4 積算の妥当性	【経費の妥当性】 ・事業内容に対し、適切な経費が計上されているか。	0.3
合 計		10

【評価基準】

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
優	優	良	良	可	可	やや不良	やや不良	不良	不良
(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)	(+)	(-)

・評価項目ごとに、10～1の整数(評価基準点)で絶対評価を行う。

・評価点数は、10～1の評価基準点に配点を乗じた数とする。